

悪魔の虚像／ドッペルゲンガー（1970）

THE MAN WHO HAUNTED HIMSELF

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 イギリス

時間 94分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

車の事故で瀕死の状態に陥った海洋会社の若手重役ペラムは、奇跡的に一命を取り留めた。体調も回復し会社にも入社するようになるが、彼は“もう一人の自分”が存在することを知る。もう一人の自分は仕事で裏工作を謀る、ギャンブルに強い、浮気者などと実直な彼とは正反対の性格。誰かの悪戯か、それとも何かの陰謀なのか、悩んだペラムは精神科医に相談したあげく入院する。精神科医のアドバイスで気分転換をはかるペラムだったが、やがてもうひとりの自分と鉢合わせすることになってしまふ……。

ヒッチコックの演出によりドラマ化されたこともある、A・アームストロングの小説『The Case of Mr. Pelham』の映画化であり、B・ディアデン監督の遺作。スリラーとしても充分楽しめるが、本作の真の狙いは人間の二面性と存在の不確実性を描くことにあったと思われ、サスペンスを劇的に盛り上げてゆくことより精神的に破綻してゆく主人公の心理描写に重点が置かれている。「007」シリーズでJ・ボンドを演じ、アクション俳優のイメージが定着してしまう前のR・ムーアが主人公に扮し意外なほどの演技派ぶりを見せてくれる。

【クレジット】

| | | | |
|----|----------------|--------------------|---------|
| 監督 | ベイジル・ディアデン | Basil Dearden | |
| 製作 | マイケル・レルフ | Michael Relph | |
| 原作 | アンソニー・アームストロング | Anthony Armstrong | |
| 脚本 | ベイジル・ディアデン | Basil Dearden | |
| | マイケル・レルフ | Michael Relph | |
| 撮影 | トニー・スプラトリング | Tony Spratling | |
| 音楽 | マイケル・J・ルイス | Michael J. Lewis | |
| 出演 | ロジャー・ムーア | Roger Moore | ペラム |
| | ヒルデガード・ニール | Hildegard Neil | イヴ |
| | アラステア・マッケンジー | Alastair Mackenzie | マイケル |
| | ヒュー・マッケンジー | Hugh Mackenzie | ジェームズ |
| | オルガ・ジョルジュ＝ピコ | Olga Georges-Picot | ジュリー |
| | ケヴォルク・マリキャン | Kevork Malikyan | ルイジ |
| | ソーリー・ウォルターズ | Thorley Walters | ベラミー |
| | アントン・ロジャース | Anton Rodgers | アレクサンダー |
| | フレディ・ジョーンズ | Freddie Jones | |
| | ジョン・ウェルシュ | John Welsh | |
| | エドワード・チャップマン | Edward Chapman | |
| | ローレンス・ハーディ | Laurence Hardy | |
| | チャールズ・ロイド・パック | Charles Lloyd Pack | |
| | ジェラルド・シム | Gerald Sim | |

| | |
|-------------|------------------|
| アンソニー・ニコルズ | Anthony Nicholls |
| ジョン・カーソン | John Carson |
| オーブリー・リチャーズ | Aubrey Richards |